

| | | | |
|-------|---|-------|----------------------------|
| テ ー マ | 土壌水分計のモニタリング試行及び、市街地における天然記念物の保全対策実践例の紹介 | 参 加 者 | 埼玉支部 14名、 他支部 3名 |
| 講 師 | 藤野高史（埼玉県支部会員） 竹林和夫（神奈川県支部会員） | 場 所 | 埼玉県川越市並木 並木大クス公園、並木自治会館 |
| 資 料 | 並木のクス報告書（要旨） | 記 録 | 藤野高史 |
| 目 的 | 樹木管理における土壌水分計の活用方法について検討する。 市街地（住宅地）における巨樹・巨木の管理の問題点と保全対策について検討する。 | | |

研修内容

【 並木大クス公園 】

県指定天然記念物の「並木のクス」を題材として、これまでの経緯、現場での様々な課題等の説明、及びこれまで行なわれてきた保全対策の実践例の紹介を行なった。

- ・ 樹木調査および土壌試掘の結果について説明。
- ・ 支柱の設置方法について。（ワイヤー支柱・cobra）
- ・ 枯枝（危険枝）等の除去による安全管理について。
- ・ 土壌の乾燥対策、踏圧被害等の対策について。
- ・ 周辺環境の変化による地下水位変動の問題について。（簡易水位計による観測）

約2年前から試験的に行なっている土壌水分センサーとロガーによるモニタリングについて紹介、設置方法・設置の注意点、灌水等への活用方法などの説明を行なった。

（土壌水分・温度・ECセンサー・水ポテンシャルセンサー・乾電池駆動5chデータロガー）

又、記録データの見方、土壌水分の考え方（土壌水分計測値のp f 値への変換、水ポテンシャル等について）の解説を行なった。



並木のクス保全対策説明



土壌水分センサー試行説明

【 並木自治会館 】

プロジェクターを使用して、土壌水分について補足的な説明を行なった。

その後、巨樹・巨木（天然記念物）の保全対策の実践例等をパワーポイントで説明しながら意見交換を行なった。



自治会館内での講習